KAMIKIREBASAMI
YASUYUKI
どちゃシコ
中出し
さぎりっくす
R18

合図は彼女の部屋の扉を3回ノックをする事。
OKの時はゆっくりと扉が開く。

…兄さん…

そう応えると、彼女は頬を赤らめて目を伏せる
最近は仕事が忙しかった事もあり、話すのは久しぶりだ。
こころなしか、いつもより瞳が潤んでいるような気がした

ギィ…

ベッドに腰をかけると、彼女の方から求めてくる。
ご無沙汰だったから寂しかったのだろうか
両手で服の下から小さな胸を愛撫する。
こぼれる吐息が熱を帯び、微かに声が洩れる。
はー♥
はー♥
はー♥
はー♥
ん♥
んん♥
ぴちゃ
ぴちゃ
ぴちゃ
ちゅぱ
ちゅるっ
ゴソ
ゴソ
ムニ
ムニ
ムニ
きゅん
きゅん

愛撫を続けているうちに、
指先にツンと硬いものがあたった
わざと焦らして触れるたびに彼女の体が震え
口にかかる吐息も一層激しくなる

硬くなったソレをつまむと彼女は小さく喘ぐ
普段より少し上ずった可愛らしいえっちな声だ

もどかしそうによじらせる彼女の
身体のラインに沿って、わき腹から太ももへと
ゆっくり指を這わせる。
わ…あ
ち、違うのお兄さん!!
これは…その…
はぁ♥
はぁ♥
はぁ♥
はぁ♥
はぁ♥
がク
がク
がク
がク
がク
がク
さーわ
さーわ
さーわ
さーわ
じゅん
内腿から奥へじっとりと指を這わせていくと、
下着が既に濡れていた。
彼女は耳まで真っ赤に染めてなにやら言い訳しているが、
その姿が逆にこちらの気持ちに火をつける

彼女の中へ指をゆっくりと挿れていく。
先ほどまで声を押し殺していた彼女も耐え切れず、声をあげる。
ぬちゅぬちゅといやらしい水音を立てながら
指はどんどん飲み込まれていく。
とても狭くて熱い。
指を動かすたびにグネグネとうごめいて、
侵入者を締め付けては押し戻そうとしてくる。
ビクンッ
ガク
ガク
ガク
ん…っ♥
ぐっ♥
グプププ
ぢゅぷぷ
ぢゅぷぷ
プニッ

彼女の中を刺激する度に愛液が溢れ出す。
だめっ…！
はー♥
はー♥
はー♥
はー♥
はー♥
兄さん もうやめて…！
ビクビクと体を震わせて拒否をしているが、彼女の本心で無いのは分かっていたしやめるつもりなんてなかった。
グチュ
グチュ
ぐぷっ
ぐぷぷぷ

あっ♡
あっ♡
イくぅ♡
ビクン
ビクン
ぶるッ
ブシュッ♡
ビュー
膣の前部を指の腹で優しくノックする。
次第にグチュグチュという水音と、
可愛らしいあえぎ声が漏れ出す。
すると彼女は電気が走ったように身をのけ反らせた。
尿道口から一気に愛液が噴き出す。
布団が愛液まみれになってしまった。
彼女は布団に身体をうずめ、ビクビクと痙攣していた。

顔を真っ赤に上気させ、肩で息をする彼女は
少し怒ったような表情でこちらのズボンに手をかける。
ズボンから現れたソレに優しくキスをした後
彼女はゆっくりと舌先を這わせた。
ブルンッ
ぴゃっ
ぺろっ
ちろ
ちろ
ムワッ

舌をこすらせながら深く飲み込み、
こぼれる唾液を啜りながら
上目遣いでこちらを見上げる。
小さな口で必死に咥えこんでいる様子が
たまらなく愛おしい。
あぁ…気持ち良い…
なでなで
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
ずずずっ…
ちゅぽっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ

限界を迎えるのはあっという間だった。
彼女の口の中に勢いよく溢れ出す精液。

どぴゅっ♡

んぼっ ゴポッ

びゅくっ♡

びゅくっ♡

はー♡

はー♡

はー♡

どろ

ごくん

少し苦しそうにしながらも
全て飲み込んでいた。

ヒクヒクと可愛らしく膨らむ割れ目に
自分のモノを乱暴にあてがう。
…これだけで射精しそうなほど気持ちが良い…
そして、彼女の脚を押さえつけ、がっちり固定すると、
我慢出来ずに一気に彼女の中に進入する。
ヌルヌルとうごめく感触があまりにも気持ちよく、
早くも達しそうになるのを必死でこらえた。
ガクガク
んあ♡
ドクンッ
ガニッ
ガクガク
ずぶぶッ
ギチッ

奥を突く度に上げる彼女の甘い声が興奮を掻き立てた。
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
あっ♡
ぱちゅん♡
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん
痛みは感じていないか、無理はないか彼女を心配するが、熱く絡みつく膣内の快感に耐え切れず腰を動かす。

彼女を持ち上げて抱き寄せる。
先ほどの姿勢よりも更に彼女の奥を突き上げる。
ぐちゅん♡
ぐちゅん♡
あっ♡
キラ
イク♡
タポ♡
タポ♡
タポ♡
タポ
中がギュっと締まり吸い上げられるような感覚。
…もう耐えられない…ッ！

体の中が一気に熱くなり、頭が真っ白になった
!!!
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ドピュッ♡
彼女の中に精液がドクドクと注ぎまれる

知らず知らずのうちに奥まで突いていたらしい
抜くと精液がこぽこぽと溢れてくる
ビクン
は
は
は
は
ひく
ひく
どろぉ
ビクン
ビクン
それを見ながら彼女は
幸せそうに微笑んだ
にこ

■発行■
紙切ればさみ
■執筆者■
やすゆき
■発行日■
2017/08/13
■印刷■
関西美術印刷

あとがきスペースが…